

橘地域公民館だより

第86号

私たちの町 ふるさと橘 むすび合って 支えあって

梅雨明けが遅かったうえに、雨の日がとても多い7月でした。また、梅雨明け以降は例年以上に酷暑が続き、熱中症に気をつけながら毎日を送られていたことと思います。9月に入っても暑い日が続いて涼しい風を待ち遠しく思っていたところですが、中旬を過ぎ、ようやく秋を感じる過ごしやすき季節になってきました。例年ですと、9月には「地区敬老会」や地域恒例の「お祭り広場」、10月には「地区市民大運動会」、11月には「地区文化祭・芸能祭」と楽しみな地域行事が続くところですが、今年はコロナ感染防止のため、やむなく中止となってしまう、とても残念です。

そんな中、7月から公民館主催事業が始まりました。どの事業も募集と同時にすぐに定員を満たしてしまい、皆さんの向学心の高さ、意欲に敬服しているところです。希望されたのに叶わなかった方々、大変申し訳ありませんでした。コロナの影響で人数制限もありました。ご容赦下さい。

公民館主催事業が始まりました

橘いきいき講座

7/22開講 受講生30名

「橘いきいき講座」は、心身ともに健康で豊かな生活を送るため、様々な知識や技能の習得、趣味の拡大や健康増進の推進などを通して、仲間づくりや地域社会への参加意欲を高めることを目的とした講座です。



第1回は、蛇石由美子氏を講師に「季節の花の寄せ植え」を行いました。鉢にブルーサルビア、千日紅、プラチーナ、ジニアプロフュージョン、ベコニアセンパフローレンスの5種の花を植え込み、きれいな一鉢を完成させました。また、①花がら摘みをこまめに行う。②表面が乾いたら、(朝のうちに)水をたっぷり上げる。③一ヶ月に一度は液体肥料をあげる。などきれいな花を咲かせるためのポイントも教えていただきました。



第2回は、元FCTアナウンサーの宗方法子氏に「うねめ物語」を聞かせていただきました。流ちょうで聞きやすく、情感のこもったお話に引き込まれていくとともに、情景が思い浮かぶ素晴らしいお話でした。後半は、「滑舌脳トレ」。言葉をハッキリと出す方法を学び、

また、速読の練習をし、脳を活性化しました。



橘ときめき大学

8/1 開講 受講生30名

「橘ときめき大学」は、専門的な学習講座を通して豊かで生きがいのある人生を送ることや、学び続ける楽しさ、学んで得る達成感を体感すること、学んだことを自分の生き方や地域に活かしていくことを目的とした講座です。



第1回は、民俗文化に造形の深い河合克行氏を講師に「祭り与人々の生活」というテーマで講義をいただきました。



「疫病と信仰、疫病と祭り」のお話は、コロナ感染拡大の脅威にさらされている現在、大変勉強になりました。

各地に伝統的に引き継がれ、活気に満ちあふれている様々な祭りですが、古来から「疫病」に苦しめられてきた人々が、神仏にすがり、また、鎮めるために祭り（祭事）を行い、踊りにも発展したというお話は、非常に興味深いものでした。



各地に伝統的に引き継がれ、活気に満ちあふれている様々な祭りですが、古来から「疫病」に苦しめられてきた人々が、神仏にすがり、また、鎮めるために祭り（祭事）を行い、踊りにも発展したというお話は、非常に興味深いものでした。

橘わくわくスクール

8月4、5日、20名の小学生が、学んだり、動いたり、頭を使ったりと、

楽しい二日間を過ごしました。二日間とも、保健委員会の方々に作っていただいたおいしいお昼をいただきました。



集中して宿題を頑張りました



←↑
作って
遊ぶ
バルーン
アート



カード
ゲーム



←レクリ
エーション
体操



保健委員会の方々による昼食づくり

お知らせ

【青少年健全育成橘地区

協議会の行事について】

◆ 11/7(土)に予定されていた「少年の主張コンクール橘地区大会」は中止とし、作文審査と表彰を各学校にお願いすることに致しました。

◇ 中止となった親子ハイキングに代わる事業として、10/11(日)に、家族で防災について学ぶ機会として「家族deまなぼうさい」を開催します。

のびのび公民館 サマースクール

夏休み中の7日間、のべ43名(小40・中3)の小中学生が公民館に来て、勉強や読書にいそしみました。

